

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、長座体前屈と20mシャトルランが全国平均を上回っており、柔軟性と全身持久力が優れている。加えて、男子は、50m走と立ち幅跳びが全国平均を上回っており、スピードと瞬発力も優れている。
- 男女ともに、筋力や筋持久力、巧緻性に課題が見られる。加えて、女子は、スピードと瞬発力、跳躍力にも課題が見られる。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・個人やチームの目標設定と振り返りの場の設定
- ・毎時間、授業のはじめに行う、運動能力向上のためのトレーニングの実施
- ・子どもが進んで体を動かす運動量を十分に確保した授業

②改善を図る点

- ・すべての子どもが体を動かすことが楽しいと感じることができるような授業づくり
- ・ICTを活用して動画撮影し、動きを確認して、改善点や練習方法を考えたり、動き方やこつなどを友達とアドバイスし合ったりする活動の設定

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・すべての子どもが安心して楽しみながら体を動かすことができるような授業づくり
- ・仲間と協働する活動の充実
- ・チャレンジ縄跳びやスポコン広場の取組など、全校で取り組む運動に関する活動や記録会の設定
- ・体力アップシートの利活用